



JR 東労組水戸

JR 東労組 水戸地方本部
発行責任者 吉田浩美
編集 情宣部担当

2022.12.25

No.41

「2023年ダイヤ改正について」提案を受ける！その②

5. 主な労使議論

組合：今回のダイヤ改正でひたち号は全列車品川発着となるが、ときわ号はどうなるのか。

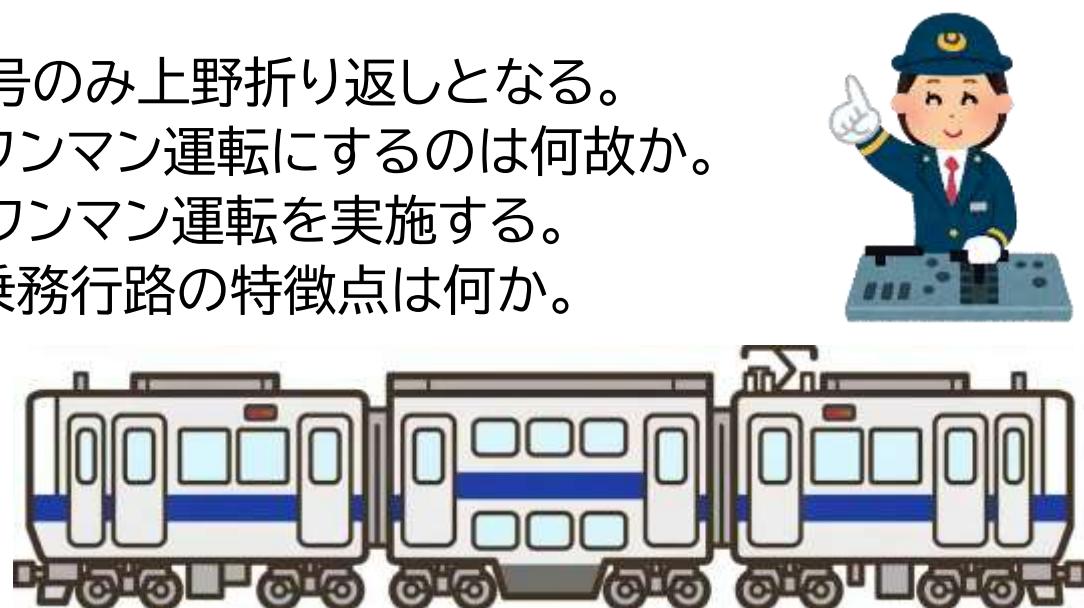
会社：ときわ54号及び53号のみ上野折り返しとなる。

組合：水郡線6本を土休日ワンマン運転にするのは何故か。

会社：ご利用状況を鑑みてワンマン運転を実施する。

組合：今回のダイヤ改正で乗務行路の特徴点は何か。

会社：一部職場で「その他時間」を行路の中に組み込む。基本的には駅業務を担う。ただ、管理者の指示によっては企画業務を行う場合もある。



組合：駅業務ではどのような業務を担うのか。

会社：MV案内や身体の不自由なお客さまの案内、遺失物対応や精算業務、ホーム警備やこれまで実績のあるイベント対応等である。あくまで後方的な支援を考えている。
駅の作業ダイヤを埋めるわけではない。



組合：教育体制はどのように考えているのか。

会社：各運輸区で行う教育と駅で学ぶ教育があると考える。必要な教育は実施する。

組合：どの駅で駅業務を担うのか。

会社：最初は拠点駅から行う考え方である。運用が馴染んできたら拠点駅以外も行う考え方である。

組合：「※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者業務を行う場合がある。」とはどういうことか？

会社：管理者が乗務業務を行うことや、主務職社員が管理者業務を行う場合がある。

JR東労組水戸地本は組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を行います！